

（社説）入試英語改革 東大の重い問題提起

民間の英語検定試験を合否判定に使うのは拙速ではないか。センター試験の後を継ぐ「大学入学共通テスト」に、東京大がそんな疑問を投げかけた。
新テストは20年度から始まる予定だ。来月には最初の受験生となる世代が高校に入学し、どんな授業をするかの模索も始まっている。そんな状況での異議申し立てに批判も出ている。

しかしこの間、政府が入試改革を急ぐ陰で、高校や大学の不安が置き去りにされてきたのは確かだ。新テストの大枠が決まった昨年春、朝日新聞は社説で準備不足を心配したが、解消されたとは言いがたい。

今からでも遅くない。文部科学省は現場からの問題提起を重く受けとめるべきだ。

民間試験は、従来の「読む」「聞く」に加えて「話す」「書く」を課すために導入が決まった。この4技能の大切さについてはおおかたの異論はない。

東大が訴えるのは「公平・公正の担保」への疑問だ。

五神真（ごのかみまこと）総長は、とりわけ話す力は「学生の育つ環境によるばらつきが大きい」という。授業だけでは身につけにくく、海外生活や留学の経験者、英会話教室などにお金を使える家庭の子が有利になる。さらに年に数回ある民間試験を「お試し」で受けられるかどうかで、差がつくともいわれる。

そもそも民間試験は複数の業者や団体が実施していて、留学用やビジネス向けなど目的も難度もまちまちだ。異なるテストを使って、受験者の力を公平に比べることができるのか。文科省は可能との立場だが、「身長と体重を同じ指標で測るようなもの。科学的ではない」といった指摘も多い。

こうした疑問を積み残したまま、導入に踏み切ってよいものか。ためらう大学は東大だけではないだろう。

入試は大学が自らの教育方針に沿って選抜方法を決めるのが原則だ。国公立を問わず、民間試験にどれくらい信頼を置くかによって、自主的に配点の割合を決めればよい。認識が変われば周知期間を確保してその割合を変えてもいいし、使わない判断があってもいい。

そのうえで、関係者は改善策の検討を続けるべきだ。公平さを重視する観点から、時間や経費がかかっても国が独自に試験を開発すべきだ、という声も根強くある。

コメントの追加 [am1]: 情報の出し方

コメントの追加 [WU2]: 「だ」の多用。効果は？

コメントの追加 [WU3]: なるべく「両論併記」の形をとっている。

コメントの追加 [WU4]: 「私は～と思う」とか「筆者の考えでは」といった言い方が避けられている。

コメントの追加 [WU5]: 読者に対する「訴えかけ」の調子。⇒「行為」として考える

コメントの追加 [am6]: 段落の作り方

主語は？

コメントの追加 [WU7]: 識者の引用によるサポート。

多くの人が納得する仕組みをつくるのは容易ではない。それでも、現場の声に耳を傾け、見直しを重ねることで、難題の答えを探らなくてはならない。（「朝日新聞」2018年3月19日「社説」）

本格★濃厚ガトーショコラ✽



★カテゴリ掲載★

小麦粉を使わずココアPのみで仕上げた本格派✽

隠し味のブラリネペーストでコクUP☆

バレンタインにも♡



happymiina

材料 (15cm丸型1個分)

チョコレート

70g

バター（マーガリン）

45g

生クリーム

60g

卵黄(L)

コメントの追加 [WU8]: いちいち絵文字を入れる→→
かわいこぶりっこ？

2 個

ブラリネペースト(あれば・なくても可)

20 g

ココアパウダー(無糖)

40 g

■ メレンゲ

2 個

* 卵白(L)

35 g

* グラニュー糖

■ デコレーション用

少々

粉砂糖(仕上げ用)

1

★準備★

ココアは 2〜3 回ふるっておく。

* 使用するココアによって苦さが変わります。グラニュー糖などで加減してください。

2

コメントの追加 [WU9]: ですます調など、丁寧で親切的な印象の文体。やさしく楽しい感じ。



チョコが乾く前に、デコレーションを乗せる。

と、上のデコが剥がれて転がることなく仕上がります✱

コツ・ポイント

かなり甘さ控えめになっています☆

チョコレートの甘さを考慮し、グラニュー糖を増減すると思います。

今回はビターチョコレート使用。

お好みで、ミルクチョコやスイートチョコなどアレンジして楽しんで下さい♪

ココアは森永のものを使用。

(中略)

このレシピの生い立ち

いつものガトーショコラを本格派に★

試作を重ね、薄力粉を減らしていったら濃厚になったので、いっその事全部ココアPにしてみました。

思いつきで入れたプラリネペーストがコクをアップさせ美味くなったので、覚え書き用も兼

ねてレシピ公開しました✱ (<https://cookpad.com/recipe/2827120> より引用)

コメントの追加 [am10]: 日本語と英語のちがいがいい。

- 想定読者がちがう
- 日本語は「一緒に体験」風。ブログ風。
- 日本語は命令形ではない。
- やわらかい。省略的。
- 「そうっと」などプライベートな言い方

■「作法」「手順」を教える。

■「欲望」がかかわるので「楽しげ」
便覧などは「決まり」なので厳しめ

■「気分」の前景化

黄疸(おうだん)

1. 定義とメカニズム 2. 黄疸のケア方法(スキンケア中心)

1. 定義とメカニズム

黄疸とは、血中のビリルビンという色素が増加し、皮膚や粘膜が黄色に染まる状態をいいます。血中のビリルビンの正常値は1mg/dl 以下であり、2mg/dl 程度以上になると眼球結膜(白目の部分)が黄染して、肉眼的に判断可能です。これを顕性(けんせい)黄疸といいます。1~2mg/dl の間では、皮膚や眼球結膜の黄染は不明瞭であり、不顕性黄疸と呼びます。

コメントの追加 [WU11]: 術語がつぎつぎに出てくる。

何となく身体が黄色っぽく見える、尿の色がひどく濃い、白目の部分が黄色く色づいて見える等の症状が現れます。一般に病的な黄疸をみる場合には、全身の倦怠(けんたい)・疲労感、皮膚のかゆみ、感冒様症状、発熱、尿の色が濃くなるなどの、他の症状を伴います。

コメントの追加 [WU12]: 主語がない。

みかんなどの柑橘類を過剰に摂取した場合に皮膚が黄色になることがあります。眼球結膜の黄染や、血中ビリルビンの上昇がないことで鑑別が可能です。これは柑皮(かんぴ)症と呼ばれ、黄疸とは異なります。

黄疸はその原因により以下のように分けられます。

1. 溶血によるもの(溶血性貧血)
2. 肝細胞の障害によるもの(肝細胞性黄疸)
3. 胆汁(たんじゅう)の流れが障害されるもの(閉塞性黄疸)
4. 体質性のもの(体質性黄疸)

治療が必要となるのは、1.~3.がほとんどです。4.体質性黄疸は治療は行わず、遺伝性であることが知られています。

肝細胞性黄疸:肝臓の広汎(こうはん)な壊死(えし)のため、ビリルビンの処理の各段階で障害されます。急性・慢性ウイルス性肝炎、アルコール性肝炎、自己免疫性肝炎、肝硬変、肝がん、薬剤性肝障害、急性脂肪肝、寄生虫性肝障害、感染性肝障害などの多くの疾患が当てはまります。GOT や GPT などの肝逸脱酵素の上昇も認められます。

コメントの追加 [WU13]: 短文。情報中心。ほぼ名詞。中心となる言語行為は「名づけ」と「展開」(~すると~になる、など)

閉塞性黄疸:腫瘍や総胆管結石などで、胆管が閉塞することにより発症します。胆道系酵素(ALP や γ -GTP)の上昇を認めます。代表的なものとして、膵(すい)頭部がん、ファーター乳頭部がん、胆管がん、各種消化肝がんの肝十二指腸韌帯(じんたい)内のリンパ節転移があります。

閉塞性黄疸では、診断に各種画像診断が必要になります。また、場合によっては ERBD(内視鏡的逆行性胆道ドレナージ)や PTBD(経皮経肝胆道ドレナージ)による、体液を排出するドレナージが必要になります。がんであれば、手術による切除が基本になります。手術不可能な場合は、ドレナージによる減黄や、狭窄(きょうさく)部へ金属製の筒をおいて、狭まりを防ぐステント留置などが考慮されます。

(https://gan.joho.jp/public/dia_tre/attention/skincare/jaundice.html より引用)

教育研究目的（東京大学法学部）

専攻課程・学部	教育・研究の目的
総合法政専攻博士課程	法学・政治学の分野において、理論的・歴史的な視野に 立って精深な学識を養い、専門分野における独自かつ高 度な研究及び応用の能力を培うことを目的とする。
総合法政専攻修士課程	法学・政治学の分野において、理論的・歴史的な視野に 立って精深な学識を養い、専門分野における研究及び応 用の能力を培うことを目的とする。
法曹養成専攻	社会に貢献する高い志と強い責任感・倫理観を持ち、先 端的法分野や国際的法分野でも活躍しうる、優れた法律 実務家を養成することを目的とする。
法学部	法学と政治学を中核とした教育研究を通じて、幅広い視 野をそなえ、法的思考と政治学的識見の基礎を身に付け た人材を養成することを目的とする。

コメントの追加 [WU14]: 1. 抽象的

2. 主語がない。

3. 養う、培う、など同じような言葉の連続。要するに「する」について語っている。

4. どこことなく「お偉そう」威張っている？

5. 命令的？規定的？

6. 形容詞の特徴。「大きい」ことが強調される。＝
Sublime

=spiritual, 宗教的

7. 名詞は幅を持たせた抽象性

（東京大学 HP より）